

**■ 教育目的**

5年次の「地域医療コース」実習において修得した知識、技能、態度の総復習を行う。コース実習中に感じた「地域医療の問題点」を再考し、その問題点に対する対応を討議する。また、実習中に修得した知識、技能、態度を活用して薬局窓口事例を検討する。さらに「地域医療コース」実習の課題として各学生が作成した「研究レポート」を輪読し、今後の地域医療、薬局業務、患者および地域住民にどのように活かせるのかを討議する。

その他、地域医療でも取扱っている漢方に関しては「伝統医療薬学コース」、海外の地域医療に関しては「海外医療コース」、将来に求められる地域医療に関しては「地域医療コース」のそれぞれの有識者による講演を聴講し視野を広める。【卒業認定・学位授与の方針：YD-⑤～⑥】

**■ 学習到達目標**

1. 地域医療の役割を列挙する。(知識)
2. 地域医療の問題点を列挙し対応策を提案する。(知識・技能・態度)
3. 患者対応において問題点を発見し対応策を提案する。(知識・技能・態度)
4. 各自の研究に関し学生間でその目的を理解し評価する。(知識・技能・態度)
5. 地域医療における漢方の役割を関係づける。(知識)
6. 海外における地域医療および薬剤師の役割を関係づける。(知識)
7. 将来の地域医療の役割について討議する。(知識・技能・態度)

**■ 準備学習（予習・復習）**

予習：コース実習で得た知識・技能・態度が、患者および住民にどのように活かせるか再考しておく。(30分)

復習：今後、地域薬局が患者および地域住民に対して担う役割を再確認する。(30分)

**■ 授業内容**

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～15	実習後演習・講義	地域医療の問題点とその対応（SGD） 薬局窓口における対応（1）（2）（ディスカッション） 研究レポート輪読（プレゼンテーション・ディスカッション） 他コース等との合同講義	

**■ 授業分担者**

山崎 紀子（責任者）、下川 健一（副責任者）、中舘 和彦（副責任者）、飯田 克巳、井上 元基、植沢 芳広、大西 優、菅野 敦之、岸田 敦、小関 珠美、駒田 陽子、斎坂 ゆかり、杉山 重夫、深水 啓朗、宮沢 伸介、山田 聖子、学外講師

**■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**

質問を個別に受け付け、授業担当者より解説・説明をする。

授業（演習・講義）の出席 50%、演習態度およびレポート提出 50%にて評価する。